

奈良県エネルギービジョンの変遷

奈良県エネルギービジョン (H25-H27)

<目的>

「電力不足や停電に備え、奈良県や市町村が率先垂範し、県民や事業者など多様な主体も積極的にエネルギーの自給力向上に取り組みます。」

① 多様な再生可能エネルギー等の普及拡大

② 奈良の省エネ・節電スタイルの推進

③ 緊急時のエネルギー対策

④ エネルギーによる地域振興

第2次奈良県エネルギービジョン (H28-H30)

<方向性>

「分散型エネルギーの推進と地域へのエネルギーの安定供給」

④ エネルギーを活用した地域振興の推進

③ 緊急時のエネルギー対策の推進

① 多様なエネルギーの利活用の推進

② 奈良の省エネ・節電スタイルの推進

「SS過疎地対策」を追加。

「家庭・事業所等の自律分散型エネルギーの導入促進」を追加。

「熱エネルギーの利活用推進」を追加。

第3次奈良県エネルギービジョン (R1-R3)

<方向性>

「緊急時等にも強く、地域のエネルギー資源を使ったエネルギーのかしこい利活用」

④ 環境にやさしいエネルギーの利活用による地域活力の向上

③ 緊急時のエネルギー対策の推進

② エネルギーをかしこく使うライフスタイルの推進

「水素ステーション配置計画」を追加。

「SS過疎地対策」を地域振興の推進から移動。

熱利用について「エネルギーをかしこく使う取組の推進」という表記に変更。